（C）日刊スポーツ新聞社

2014.7.23→2020.7.24

次回23日(水) 自治体のおもしろ取り組みあれこれ

プロレスラー 武藤敬司（52・W—1）

2020年東京五輪へ 300人リレーコラム 80人目 題字は北島康介

オレは東京五輪の追加種目に空手を応援しているんだよ、新競技だ。金の緑健児さんから、K—1がプームだったころに、そちらに行くべきか相談を受けたことがあるんだ。空手の選手たちも、K—1を目指す選択肢ができたけど、オレは緑さんに、アマチュアとしての空手道を極めてほしい、アマチュア空手に必要なのは、五輪種目に入ることだ、とアドバイスした。

オレは柔道をやっていたから分かるんだけど、五輪というのは最確立目標になる。アマチュアの最高峰だからね、喰べれば、人生の道が決まっていく、ステータスを勝ち取れる場が五輪なんだ、オレが言ったからどうか分からないけど、それから空手界は五輪に向けて動きだした。そして、東京五輪でよりやく、夢がかなうことが出来ている。だから、空手にも頑張ってほしいね。

しかし、五輪で日本代表になるというのは、大変なことだね、4年に1回、その4年間の砕の中で、一番強い人が五輪に行けないこともあるんだ。山下泰裕さんや、斉藤仁さんは柔道界でトップの人として、五輪でも活躍されていた。斉藤さんは、92年にオレの結婚式にも出てもらったんだよ。おおらかで、まじめな人だったな。

五輪は、陸上や水泳を見ちゃうんだ。普段テレビでやらない、個人種目が注目されるでしょ。人間技で一瞬の感動が得られる。感動したいと思って、わざわざ、ねちって見ちゃうんだ。一瞬の空想だけど、面白いだろう？ハンマー投げの室伏広治選手なんか、ルックス、雰囲気、すべて恵まれているんだ。4年に1回、スターになれると思うんだ。やっぱり、何げなくテレビをつけたら、バルセロナ五輪の水泳をやっていたんだ。あれは感動したね。五輪に出ている選手の迫力投げやり投げ、体操、バスケットボール、柔道などの人材を集めてプロレス部隊をつくったら面白いと思うんだ。いろんな人材をミックスさせたら、それこそ別世界だ。

一番強い人が五輪に行けないこともあるんだ。山下泰裕さんや、斉藤仁さんは柔道界でトップの人として、五輪でも活躍されていた。斉藤さんは、92年にオレの結婚式にも出てもらったんだよ。おおらかで、まじめな人だったな。

五輪は、陸上や水泳を見ちゃうんだ。普段テレビでやらない、個人種目が注目されるでしょ。人間技で一瞬の感動が得られる。感動したいと思って、わざわざ、ねちって見ちゃうんだ。一瞬の空想だけど、面白いだろう？ハンマー投げの室伏広治選手なんか、ルックス、雰囲気、すべて恵まれているんだ。4年に1回、スターになれると思うんだ。やっぱり、何げなくテレビをつけたら、バルセロナ五輪の水泳をやっていたんだ。あれは感動したね。五輪に出ている選手の迫力投げやり投げ、体操、バスケットボール、柔道などの人材を集めてプロレス部隊をつくったら面白いと思うんだ。いろんな人材をミックスさせたら、それこそ別世界だ。

オレは、東京五輪の追加種目に空手を応援しているんだよ、新競技だ。金の緑健児さんから、K—1がプームだったころに、そちらに行くべきか相談を受けたことがあるんだ。空手の選手たちも、K—1を目指す選択肢ができたけど、オレは緑さんに、アマチュアとしての空手道を極めてほしい、アマチュア空手に必要なのは、五輪種目に入ることだ、とアドバイスした。

オレは柔道をやっていたから分かるんだけど、五輪というのは最確立目標になる。アマチュアの最高峰だからね、喰べれば、人生の道が決まっていく、ステータスを勝ち取れる場が五輪なんだ、オレが言ったからどうか分からないけど、それから空手界は五輪に向けて動きだした。そして、東京五輪でよりやく、夢がかなうことが出来ている。だから、空手にも頑張ってほしいね。

しかし、五輪で日本代表になるというのは、大変なことだね、4年に1回、その4年間の砕の中で、

00年シドニー

◆日本メダル総数 金5銀8銅5
◆主な金メダリスト 野村忠宏、井上康生、田村亮子（柔道）

Qちゃんの風感じた

女子マラソン 独走でメーンスタジアムに戻った高橋尚子、薄暗いゲートを抜け大観衆の声援に包まれた瞬間の表情をワイドレンズで狙った。すぐ横を走り去る高橋選手の風を右ほおに感じ、鳥肌がたったことを覚えている。【田雄二】

撮るのも見るのも初

女子柔道48キロ級 悲願の金メダルを獲得した田村亮子。思い出がたくさんできましたという。その胸には、金メダルでなく、多くのピンバッジが光り輝いていた。この笑顔は今でも忘れられない。【鹿野芳博】

この笑顔忘れられない

女子ナショナルトリオ 競技中、ずっとカメラを向けていた。良かれ悪かれ、普段よりも自然な表情だったと思う。ゴールの瞬間、思わず、ガッツポーズ。ずっと、ずっと、ご苦労様でした。【西尾敏也】

96年アトランタ

◆日本メダル総数 金3銀6銅5
◆主な金メダリスト 野村忠宏、恵本裕子（柔道）

突然「ドン」まさかのテロ

爆破 五輪公園

突然、「ドン」とガラスを震わせる地響き。ひと仕事終えてプレスセンターでのんびりしていると、突然、「ドン」とガラスを震わせる地響き。震えるような衝撃を受けた。すぐに飛び出すと、そこには血を流し倒れている人々が…。本能的にシャッターを切った。後から爆弾テロと分かり、その後は五輪より緊張者の自宅を張り込んだりと、いやな思い出でもある。【柴田隆二】

綾里の涙、また涙に…

女子100メートル背泳ぎ 金メダルの期待が大きかった14歳の青木綾里が、決勝で6位に終わり、開会式以来、連続で涙を流した。その後、テレビ中継のインタビューに応じて、涙ながらに、「先輩の田中雅美さんに、申し訳ない気持ちでいっぱいです。五輪の厳しさを重圧、そして、舞台裏に触れ、すごく切ない思いで撮影しました。【浦部歩】

08年北京

◆日本メダル総数 金9銀6銅10
◆主な金メダリスト 石井慧（柔道）、吉田沙保里（レスリング）

上野に何かが降臨…ほれた

女子ソフトボール 緊張感もMAXだった。上野由岐子さんが投げ、ヤマタノオロチは無我夢中で、鳥肌がたっていたような気がする。「ほれる」ってこういうことだな。

震える体抑えるのに必死

男子100メートル背泳ぎ 「光元の感じは…」と初谷アナが絶叫した瞬間、私は冒頭部ではなく見守る仲間を狙っていた。失態を絶対するわけにはいかない。表彰式の会場で、カメラを構えていたいいポジションを探し、「君が代」が流れる中、歩きながらシャッターを切った。【宇治公也】

上野の五輪メダル

朝とは金メダル。北京オリンピック女子レスリング55キロ級決勝。キューバ内の地元の歓声の中で、震える体を抑えるのに必死だった。【田崎豊】

04年アテネ

◆日本メダル総数 金16銀9銅12
◆主な金メダリスト 室伏広治（陸上）、野口みずき（マラソン）、吉田沙保里（レスリング）

客席から表彰式…歩きながらシャッター

陸上 二刀流 男子ハンマー投げ 室伏広治選手。ハンマー投げの金メダルを獲得した。表彰式の会場で、歩きながらシャッターを切った。【宮崎豊】

「ちょー気持ちいい」とはならず

女子100メートル平泳ぎ 北島康介選手。最後の50メートルは、ブレストストロークの動作が、ほぼ、ストップモーションのように見えた。間なくて不思議に思ったら、番組の収録だった。「ちょー気持ちいい」とはならなかった。【野口伸悟】

山本ばりに全神経集中

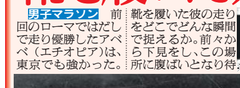
男子アーチェリー 大理石のオリンピアンゲート。ナショナル競技場の41歳の山本博に金メダル獲得の可能性が浮上した。取材経験は1度もなかったが、アーチェリーは精神集中の競技。自らのシルエットを使用するタイミングを見計らうタイミングで、全神経を集中させた。結果は銀メダルとなったが、静かな緑の中に広がる感動が、金メダルを獲ったアンドレアとの組共演での約束を果たした。山本の表情に、実直さを感じた一瞬だった。【加藤慎一】

ニッカン・カメラマン撮っておきオリンピックの1枚

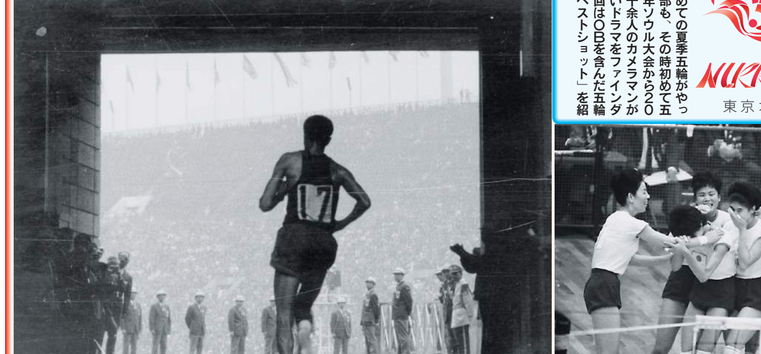
64年東京 靴を履いたアベベを腹ばいで

◆日本メダル総数 金16銀5銅8
◆主な金メダリスト 桜井孝雄（ボクシング）、渡藤幸雄（体操）

男子マラソン 前回のローマではだしで走り優勝したアベベ（エチオピア）は、東京でも強かった。靴を履いた彼の走り方をどこでどんな瞬間で捉えるか。前々から下見をしていた場所に腹ばいとなり待ちかまえた。自分が決めた構図にアベベが入ってくる。「まだ早い、まだ早い」と思いながらその一瞬を待つ。ニコンF、200㎜レンズで、心臓をドキドキさせながらシャッターを切った。【荒木日出男】



※紙面は当時のもの



300回超大連載 第60回

1964年、東京に日本で初めての夏季五輪がやってきました。日刊スポーツ写真部も、その時初めて五輪を取材しました。その後の88年ソウル大会から2012年ロンドン大会まで総勢二十余人のカメラマンが五輪を撮り続け、選手たちの熱いドラマをファインダー越しに記録し続けました。今回はCDを含んだ五輪カメラマンによる「厳選 私のベストショット」を紹介します。

NIKKAN SPORTS 東京オリンピック特集

涙止まらずシャッター押し続け

女子ハイ 日本国民の誰もがソ連に撃ちまくられていたと思う。それが、大南豪子が、ボールを拾って拾って、とうとうラストポイント。最後はソ連のオーバーネットだった。涙が止まらずシャッターを押し続けていた。そのあとの記憶はない。【清水勝彦】

92年バルセロナ

◆日本メダル総数 金3銀3銅7
◆主な金メダリスト 古賀淑子、吉田秀彦（柔道）、ビクター・シェルボ（体操）

36枚撮りフィルム1本勝負

女子100メートル平泳ぎ 岩崎恭子の決勝は日本時間の午前1時過ぎ。ゴールを過ぎた。600ミリレンズを持って配者席でレースを追った。撮り終えたフィルム1本で36枚。残り1枚を気にしたがり、前半から、ずっと、ずっと、ほぼ、駆けっぱなしだった。【黒河謙二】

古賀の母にピントを

男子柔道71キロ級 決勝前、観客席最前列に古賀稔彦の母親を発見。30ミリレンズで古賀の優勝を目撃した後、真っ先に母親の真横に陣取った。16ミリレンズで母親にピントを合わせながら古賀を待つと数い秒。泣きながら拍手を繰り合うシャッターを高等した。【宮川勝巳】

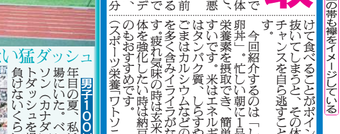
敵も味方も見とれた

男子バスケットボール NBAのスーパースターがドリームチームとして初めて五輪の舞台に立った大会。初戦のアンゴラ戦開始直後、ドリブルで持ち込んでからのフェイントでシュートに、敵も味方も見とれているかのように動きが止まったのが印象的だった。【福水力一】

88年ソウル

◆日本メダル総数 金4銀3銅7
◆主な金メダリスト 斉藤仁（柔道）、鈴木大地（競泳）、カール・ルイス（陸上）

ベン・ジョンソンに負けない猛ダッシュ

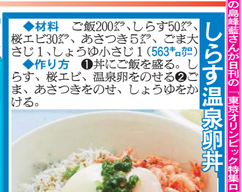


男子100メートル 決勝は、ベン・ジョンソンとカール・ルイスの一騎打ちとなった。ルイスの2位に終わったジョンソンが、ゴール直前、ルイスを抜き去り、9秒79の世界新記録を出した。【梁川聡】

しらす温泉卵丼

◆材料 ご飯200㌘、しらす50㌘、桜エビ30㌘、あさつき5㌘、ごま大さじ1、しょうゆ小さじ1（563㎉/1㌘）

◆作り方 ❶米にご飯を盛る。しらす、桜エビ、温泉卵をのせる❷ごま、あさつきをのせ、しょうゆをかける。



ジュニアアスリートを応援する

勝ごはん 忙しい朝でも簡単に栄養摂取

管理栄養士 川端理香さんメニュー提案

朝食は必要不可欠です。大事だと分かっていても、一朝一夕には、なかなかいかないのです。体は自分が寝ている間に、何から食べられない、一朝一夕にはいかないのです。体は自分が寝ている間に、何を食べて良いのかがわからない、なぜ、と多くの悩みや疑問を聞いてきます。

大切と分かっていても実践できないのは、本当の朝食の意味が理解できていないからです。夜は自分が寝ている間に、何を食べて良いのかがわからない、なぜ、と多くの悩みや疑問を聞いてきます。

朝食は必要不可欠です。大事だと分かっていても、一朝一夕には、なかなかいかないのです。体